

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

話し合う…これからどうしたらいい／菜の花保育園（山梨県）

クラスで疑問を話し合ったり、問題の解決を図ったりすることはありますか？「好奇心が旺盛で、『なぜ？』『どうして？』と、すぐにあれこれ周囲の大人に質問する」と言われる子どもたち。ですが、子ども同士の話し合いをよく聴くと、疑問や問題を考え合い、好奇心から探求心へと深まっていることが分かります。今回は、このような子どもたちの話し合いの様子をご紹介します。



● ツマグロヒョウモンを育てたことを振り返る話し合い／4・5歳児

3月から育て始めたパンジーに毛虫がいるのを見つけた5歳児Gちゃん。担任保育者や園長先生に毛虫の正体を質問し、「ツマグロヒョウモン」という蝶の幼虫だと分かる。次々見付かった7匹の幼虫を飼っていると、2匹が羽化し5匹はうまくいかなかった。「この体験を振り返る話し合いをすることで、自分たちの体験や学びを振り返り、意識化することができるのではないか」と考えて、5歳児、4歳児がそれぞれクラスで話し合いをした。

話し合いで出てきた子どもの言葉中心に抜粋

✦ 5歳児の話し合い（6月末）

Gちゃん：（7匹のうち）2匹 パンジーを食べて大きくなったんだ。

Kちゃん：5匹、蝶にならなかった

Sちゃん：溶けちゃったのもいる

A保育者：なぜ 5匹は蝶にならなかった？

Mちゃん：ご飯が足りなかったんじゃない？

Yちゃん：違うよ、食べ過ぎたんじゃない？

Mちゃん：違うよ 2匹は嫌いな味のパンジーも食べたけど、他のは好きなパンジーだけしか食べなかったから、蝶になれなかったんじゃない？

Gちゃん：触りすぎたかもしれない。特にMちゃん、かわいかったし…。

Mちゃん：えっ俺 そんなに触ってないよー（涙）

Sちゃん：もしかすると仲が悪かったのかもしれない…だとしたら、次にたくさん取れたらケースを分けた方がいいな

✦ 4歳児の話し合い（7月末）

B保育者：ツマグロヒョウモンちゃんが、もういなくなっていました。みんな一所懸命育ててえらかったね。

Nちゃん：だってかわいかったもん。

B保育者：最初トゲトゲしていて、先生怖かったよ。

Nちゃん：でも、触ってみたらフワフワだったよ。

B保育者：サナギになるところ見た人いる？

Sちゃん：はい お尻から糸が出たよ。

Yちゃん：それは口からじゃない？

Aちゃん：私見たよ。黄色い、なんか液みたいなものを出して、それが滑り止めになってケースの上に登っていくところ。

Sちゃん：私も見た。

B保育者：サナギになったところは？（みんな首をかしげて顔を見合わせている。）

Nちゃん：夜、なったんだよ、きっと。

B保育者：そっかー、誰も見てないんだ。

Oちゃん：次は見てみたいね。

Yちゃん：僕、気になっていることがある。どうしてサナギは金色の点々があるの？

B保育者：誰か分かる人いる？

Nちゃん：分からない。夜、何かあったのかな？

子どもたち：首をかしげて顔を見合わせる。

B保育者：そっか、不思議だね。

白帽子（5歳児）さんから、いろいろと教えてもらったけど、赤帽子（4歳児）さんも、7匹の毛虫のうち蝶になったのは2匹だけね。なぜだろう？

Nちゃん：やっぱりご飯が足りなかった？

Oちゃん：ケースが小さかった？

Sちゃん：食べたパンジーに毒があった？

B保育者：でも、2匹はサナギまでにはなったよね。どうしてサナギからチョウチョにならなかったのかな？

Oちゃん：皮が固すぎて息ができなくなっちゃったかも…？

A保育者：そういえば、蝶になった時、赤い汁みたいなのが沢山でたよね

Aちゃん：あれは血だよ。一所懸命殻をやぶるから…。

Mちゃん：違うと思います。あれはたくさん吸った花の蜜の色だと思います。

A保育者：そっかーいろいろなことが考えられるね…。もう毛虫はこないのかな？

Yちゃん：寒くなっちゃったからねー。

B保育者：アツ暑くないと来ないのか…。

Nちゃん：多分ね…。

Yちゃん：じゃあ冬の間どうしてるのかな？ 気になる。

Mちゃん：多分、お家で寝てる？

Gちゃん：またさ、暑くなったら来るよ…。

Yちゃん：でもさ、花がないと来ないだろ。

Nちゃん：その通り

B保育者：花は毎年もらうのもあるけど、もっといっぱいあったら、もっと来るのかな？

Yちゃん：あっ、いいこと考えた。種から育てようよ！！

Nちゃん：うん、それいいね。いっぱい咲かせたい。

B保育者：そっか、じゃあ種探してみよう。

Sちゃん：S、お父さんに聞いてみる。

Aちゃん：みんなお家で大人に聞いてみよう。

（種探しをすることで、話し合いは終了した。）



● 保育の見通し

子どもはいろいろと考えていると感じた。種植えから始めるために、保育者として、さらに調べてみようと思った。

✦ 保護者へ発信

話し合いの後、振り返ったことを保護者に発信した。



保護者へ発信したレター（画像クリックで拡大）

✦ 振り返って

話し合いをすることで、今までの自分の体験やみんなが共通に体験したことを振り返ることができた。様々な疑問をもち、話し合うことで疑問を解消しようと考えを出し合い、「これからどうしたらよいか？」「今度はどうしたいのか」など、これからの活動についても考え合い、行動することに結び付いた。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム
幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」